

# 「みはらしの里」の茅葺古民家が 『ひたちなか市指定有形文化財』に指定されました。

このたび、国営ひたち海浜公園の古民家2棟（旧土肥家住宅）が、『ひたちなか市指定有形文化財』に指定されましたのでご報告いたします。

同施設は平成22年10月1日に移築・完成しました。東日本で最も古い古民家の一つとしてされており、一般公開後は、昔の農村の暮らしを体験していただく場として、多くの催事やイベントが催されてきました。

これを機に、当公園では、歴史的にも貴重な建築物であることを再認識するとともに、今後も多くの来園者に、建物の魅力だけでなく、当時の人々の暮らしぶりを伝えていきます。

11月3日（土）には、「古民家お茶会」を開催致します。また、12月から1月にかけては、年末年始の伝統行事も数多く開催致します（※後日リリースにてご案内致します）。



古民家 主屋の内観 2010年11月13日撮影

## お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL:029-265-9001(報道関係者の方は029-265-9004・9005迄) FAX:029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

# ひたちなか市指定有形文化財指定にあたって

ひたちなか市より、文化財としての重要性を認められ、市民の皆様の文化的向上に役立てることを目的として、『ひたちなか市指定有形文化財』に指定されました。

当公園の古民家は、資料館的な要素を排除して風景作りと参加体験型の施設の在り方を追求してきました。これからは文化財としての重要性を伝えながらも、来園者の皆様やボランティアである「みはらしの里パートナー」の方々と一緒に、なつかしさを楽しむための施設として、民俗・歴史に裏付けされた運営を行っていきます。



## 古民家の紹介

茨城県稲敷市にあった旧土肥家の主屋と隠居屋の2棟を移築しました。隠居屋からは、宝永3年(1706年)の墨書が発見されています。主屋はそれより50年は古いと推察され、1600年代中期、約350年前に建築されたもので、東日本で最も古い民家の一つと考えられます。主屋は徳川家綱、隠居家は徳川綱吉の時代に建てられたもので、水戸光圀が生きていた時代の建物となります。

民家の形式には、曲がり屋と分棟型、直屋形式がありますが、この古民家は直屋形式となります。主屋、隠居家ともに、間口約7間、奥行き約4.5間で、ほぼ同規模となっています。今回移築するにあたっては30年程前に解体された際に保存されていた柱や梁を使用するだけでなく、改築されていた部分を建てられた当時の間取りや造りに戻して復元しました。

**旧土肥家住宅 隠居屋**

- 建設年代：1706年(宝永3年)
- 規模：奥行7間(13.56m)  
間口4間半(8.64m)
- 延床面積：117.1m<sup>2</sup>



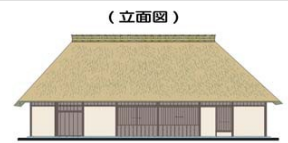
(立面図)



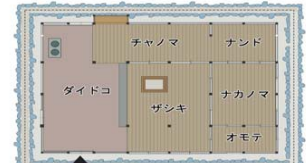
(平面図)

**旧土肥家住宅 主屋**

- 建設年代：1600年代半ば(寛文年間)
- 規模：奥行7間(13.97m)  
間口4間半(9.71m)
- 延床面積：134.2m<sup>2</sup>



(立面図)



(平面図)



古民家の前では昔遊びも体験できる 2010年10月2日撮影

## “みはらしの里パートナー”

古民家では、公園ボランティアの「みはらしの里パートナー」の協力により、訪れた方へ古民家や、当時の暮らしの紹介や、様々なイベントを実施しています。

## 『古民家お茶会』

- 日 時：11/3(土) 11:00~11:30・13:30~14:00
- 場 所：古民家 隠居屋
- 定 員：先着200名
- 参加費：300円
- 協 力：遠州流青年部

古民家の一室で伝統文化である遠州流の茶の湯を体験します。お子様や初心者の方も楽しめる茶会ですので、お気軽にご参加ください。

※遠州流は江戸時代初期の大名で、茶人として有名な小堀遠州を流祖とする武家茶道の代表的な流儀です。大名茶道と呼ばれ400年の歴史があります。

